

中央地域ブロックにおける学校統合の組合せ（案） （令和元年 10 月）




○表記に関する注意事項

- 1 各学校の建築年度は、現有校舎のうち、最も古い棟の建築年度とした。
- 2 児童生徒数は、2040 年の国立社会保障・人口問題研究所（社人研）推計を最小値、人口ビジョン目標を最大値で示した。
- 3 小学校の 18 学級の最小値・最大値は、412～576 人であり、12 学級の最小値 236 人を下回る場合は、統合後の規模をイタリックで示した。
- 4 中学校の 18 学級の最小値・最大値は、483～594 人であり、12 学級の最小値 291 人を下回る場合は、統合後の規模をイタリックで示した。

中央地域ブロック

小学校（9校→6校を上限）

中学校（3校→3校を上限）

	学校名、校舎建築年度 児童数	統合後 の規模	接続先	学校名、校舎建築年度 生徒数	統合後 の規模
1	①寺内小 H1 195～311人	446～ 708人		①泉中 S54 381～604人	381～ 604人
	②八橋小 S48 251～397人				
	③泉小 S54 294～466人	294～ 466人			
2	④中通小 S49 125～198人	359～ 568人		②秋田南中 S51 208～330人	208～ 330人
	⑤築山小 S45 234～370人				
3	⑥旭北小 H4 166～261人	377～ 595人		③山王中 H16 329～521人	329～ 521人
	⑦旭南小 S42 211～334人				
	⑧川尻小 S56 320～507人	320～ 507人			
	⑨保戸野小 H10 144～227人	<u>144</u> ～ <u>227人</u>			

○理由

1 小学校

(1) ①寺内小と②八橋小の組み合わせ

- ・寺内小と八橋小は、寺内小が八橋小から分離新設した経緯があること。
- ・寺内小と八橋小の接続先が泉中であること。

(2) ④中通小と⑤築山小の組み合わせ

- ・中通小は、すでに1学年1学級となっていること。
- ・中通小と築山小の接続先が秋田南中であること。

(3) ⑥旭北小と⑦旭南小の組み合わせ

- ・旭北小と旭南小は、旧旭小から2校に分離した経緯があること。
- ・旭南小の接続先が、秋田南中と山王中に別れている課題があること。

※ 中央地域の中学校は、3校を上限とするものであり、現行のままとする。